

近畿地方整備局 福井河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成26年9月17日14:00
------	-----------------

件名	～福井豪雨から10年～「わが家のぼうさいコンテスト」結果発表 家族との約束事や工夫がいっぱい詰まった作品がずらり
----	---

概要	<p>福井豪雨から10年、福井豪雨を忘れないために、水害に対する防災・減災への意識を喚起するための広報活動の一つ、小学生対象の「わが家のぼうさいコンテスト」にたくさんの応募をいただきありがとうございました。</p> <p>審査の結果、入選15点が選ばれましたのでお知らせします。</p> <p>いずれの作品も、家族との約束事や、調べて初めて分かったことなど、我が家の豪雨に備えたぼうさいの工夫が満載です。</p> <p>(福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会)</p> <p>国土交通省近畿地方整備局(福井河川国道事務所、足羽川ダム工事事務所、九頭竜川ダム統合管理事務所)、福井地方气象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)</p>
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問い合わせ先	<福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会 事務局> 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 福井県福井市花堂南2-14-7 電話 0776-35-2661(代表) 副所長(河川) <small>いそがわ まさし</small> 五十川 政志 (内線204) 調査第一課長 <small>おだに としふみ</small> 小谷 敏文 (内線351)
--------	---

わが家のぼうさいコンテスト受賞者

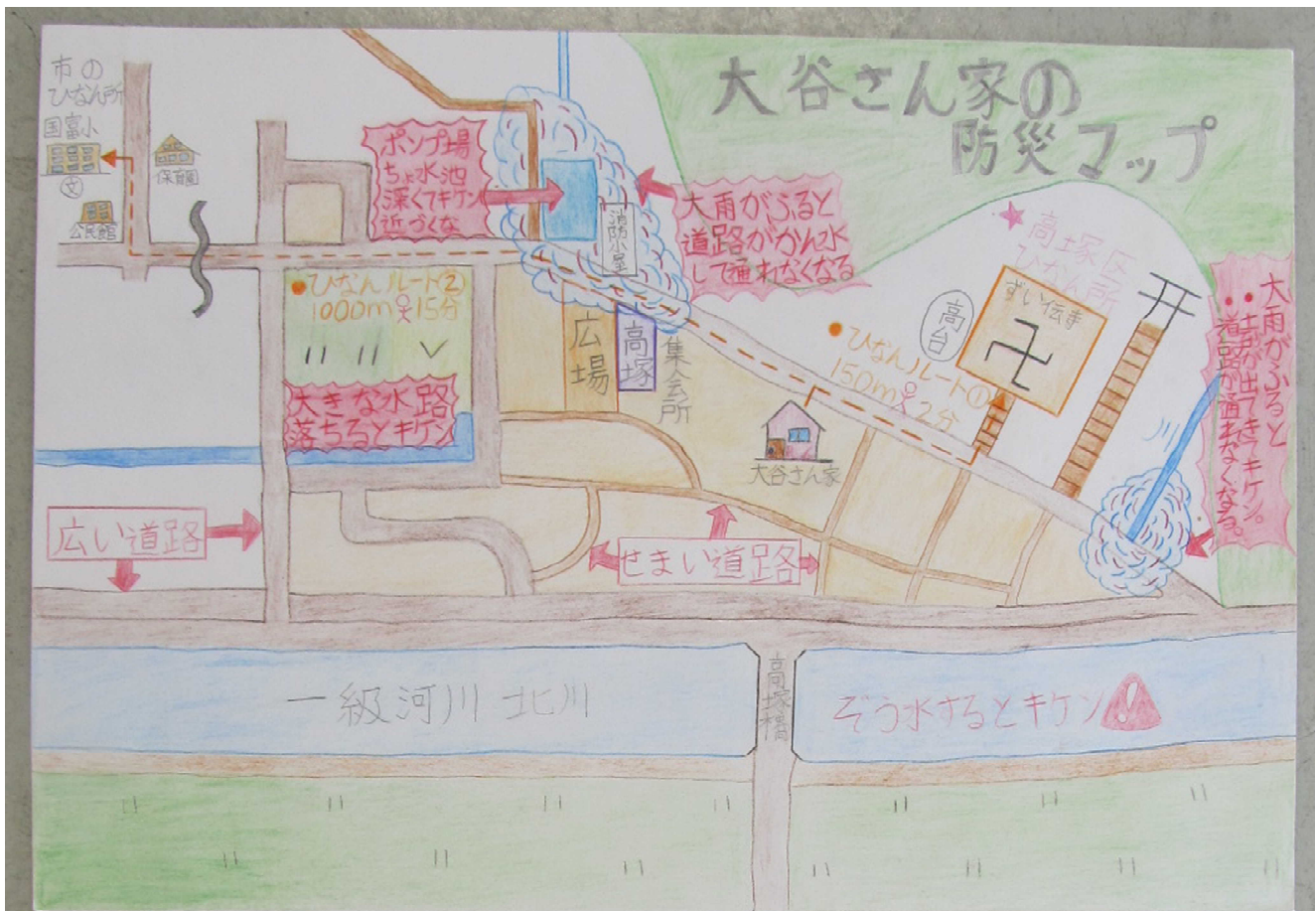
最優秀賞	安達 志織	豊(みのり)小学校 6年生
優秀賞	大谷 柊翔	国富小学校 5年生
	小川 しずく	東郷小学校 6年生
NHK福井放送局長賞	酒井 彩伽	社北小学校 6年生
福井新聞社長賞	福谷 和信	豊(みのり)小学校 6年生
入選	中林 莉瑚	豊(みのり)小学校 6年生
	田中 もも	豊(みのり)小学校 6年生
	平木 悠太	豊(みのり)小学校 6年生
	齊藤 温大	豊(みのり)小学校 6年生
	瀬野 佑月	豊(みのり)小学校 5年生
	大村 望乃	豊(みのり)小学校 4年生
	飛永 萌衣	国富小学校 5年生
	青木 優那	和田小学校 2年生
	川崎 菜々子	社北小学校 6年生
	酒井 雄人	社西小学校 4年生

※ 奨励賞を別途22作品選んでいます。

- コンテスト概要 : 参考資料1(応募時の広報資料)を参照
- 応募作品数 : 95作品
- 審査会 : 9月16日(火)に開催

審査委員長 = 福原輝幸福井大大学院教授
審査委員 = 青野正志(福井河川国道事務所長)
柿下毅(福井地方気象台長)
竹内成和(福井県土木部技幹)
飛田幸平(福井市危機管理対策監)
山本道隆(福井新聞社取締役営業局長)
秋山光智(NHK福井放送局長)

- 表彰式 : 10月11日(土)に開催します「福井豪雨から10年 県民公開シンポジウム」(参考資料2)で執り行います。



◎ 災害に備えて準備しておく物

- リュックサック・かい中電灯・水・食料・軍手・けい帯ラジオ・予備デジカメ
- 救急用品・ヘルメット・タオル・モフ・けい帯ラジオ電器・ティッシュペーパー

★ 家族で決めたこと

- 連らくを取る方法を決めておく。
- いっしょにいなかったときの集合場所を決めておく。
- 1人では行動しない。

地図を見て分かったことや気づいたこと

- ぼくの家の周りは、雨がふると水があふれだす場所が何か所もあることが分かりました。
- もし災害があたら、家から近い高塚区ひなん所へにげるとということが分かりました。
- 村の中は道がせまくて、村の周りに広い道があることが分かりました。

か ぞく
家族でかくにん!

わが家のぼうさい コンテスト

「福井豪雨」って
知っていますか?

今から10年前の7月18日、福井北
地方を中心にとても激しい雨が降り
ました。地区によっては、約1カ月分
の雨がたった1日で降るほどでした。
あすわ川などで堤防が決壊して1万軒
以上の建物が浸水し、5人の死者・
行方不明者が出るほどの大変な災
害となりました。

台風や大雨による大規模な災害
は日本全国で起こっています。いつ、
どこで起こるかを予測することは難し
いですが、家族の命を守るために備
えることはできます。もしものときにど
う逃げるか、何をすべきかなどを家族
で話し合い、約束事や避難場所を
確認しておきましょう。



もしものときに備え、家族で話し合おう!

作品大募集!

対象

福井県内の小学生とその家族

どんどん送ってね!

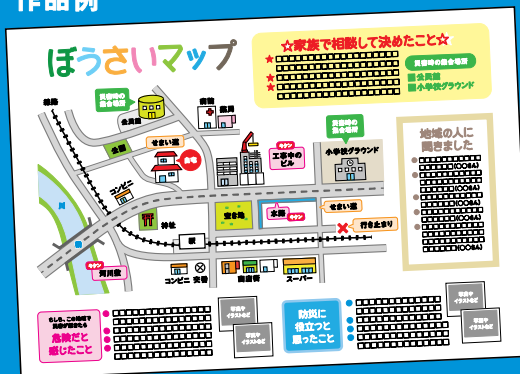
【応募要項】

テーマ

下記の3つを基本に、豪雨など
自然災害に対する家庭での備えや決め事、
防災について家族で話し合い、
地域の現状を理解し、表現しているもの。

- ① 地域の危険や避難場所などが分かる地図や、
地域について調べたこと
- ② 家族で決める約束事
- ③ 取り組んで分かったこと、感想

作品例

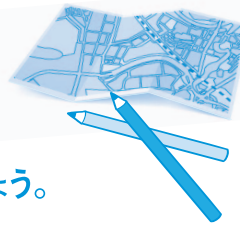


お問い合わせ・応募先

福井新聞社内
「ぼうさいコンテスト」係
〒910-8552
福井市大和田2丁目801番地
TEL 0776-57-5152
(平日9:30~17:30)



- ステップ 1 住んでいる地域のハザードマップを調べたり、地域の人から聞き取りをして、危険な場所や避難場所を確認しよう。
- ステップ 2 もし災害が起こったとき、どう行動するのかを家族で相談しましょう。
- ステップ 3 家族で相談した約束事を実際にやってみよう。
- ステップ 4 地域を調べたり、やってみて分かったことをまとめよう。



作品例

自由な表現方法や、まとめ方に決まりはありませんので、自由に作ってください！

ぼうさいマップ

作品タイトル

危険な場所も書き込もう！

家族で相談したことをまとめてみよう！

避難場所を書き込もう！

実際にやってみて分かったことや感想を書いておこう！

応募内容

- ①地域の危険や避難場所などが分かる地図や、地域について調べたこと
- ②家族で決める約束事
- ③取り組んで分かったこと、感想
- 児童の手による制作物であること
- 1人1作品で、1作品につき画用紙2枚(四つ切サイズ推奨)まで

応募方法 / 締め切り

応募者は9月10日(水)までに、郵送で下記まで(消印有効)
福井新聞社内「ぼうさいコンテスト」係
〒910-8552 福井市大和田2丁目801番地

審査委員

審査委員長 福原輝幸氏
(福井大学大学院教授)

表彰

- 応募作品の中から優れた作品を表彰する。
- 最優秀賞1名
 - 優秀賞2名
 - 特別賞2名 (NHK福井放送局長賞、福井新聞社長賞)
 - 入選10名
 - 奨励賞20名
- 受賞者には賞状や副賞を贈ります。

審査・発表・授賞式

- 【審査】審査会は平成26年9月予定
- 【発表】9月下旬の福井新聞紙上にて
- 【授賞式】受賞家族は10月中旬に開催する「ふくいの水防災を考える 総括シンポジウム(仮称)」で表彰し、会場に作品をパネル展示する。

- ◎受賞者には追って連絡します。
- ◎作品は返却いたしません。
- ◎受賞作品はホームページや作品集に掲載します。

〈切り取り線〉下の応募表を作品の裏面に貼ってご応募ください！

応募票

もしものときに備え、家族で話し合おう！ わが家のぼうさいコンテスト

作品タイトル	フリガナ	
	なまえ お名前	
工夫した点や感想	がっこうめい 学校名	がくねん 学年
	しょう がっ こう 小学校	ねん せい 年生
いっしょ しら かぞく なまえ ねんれい がくねん 一緒に調べた家族の名前 (年齢または学年)		例) 父・一郎(40歳)、母・花子(36歳)、姉・花江(中2)、弟・二郎(小2)など
じゅうしょ 住所		〒 -
でんわばんごう 電話番号		

※応募票記載の氏名や学校名は、受賞した場合に新聞等に反映されます。間違いがないように提出前に再度、ご確認願います。

福井豪雨から10年 県民公開シンポジウム

災害に強い、 地域をめざして

豪雨や台風などによる災害は全国各地で毎年のように起き、土砂災害でも多くの方が命を落としています。自然災害は決して対岸の火事ではありません。「災害に強い地域」をつくり上げていくため、日ごろから十分な備えが必要です。いざというときに家族や地域で助け合える環境をつくり上げるための課題やハードルはどこにあるのか。県民みんなで考えていく公開シンポジウムを開催します。



平成
26年
10/11(土)

開催時間 13:30～15:45 開場 13:00

福井商工会議所
地下コンベンションホール

(福井市西木田2-8-1)

参加無料

申込締切：10月6日(月)
定員 300名

お申し込み・お問い合わせ

参加希望の方全員の氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業を明記の上、はがき、FAX、またはメールにてお申し込みください。また、防災対策へのご意見、質問などがあればお寄せください。

【お申し込み先】

〒910-8552 福井市大和田2丁目801番地
福井新聞社内「福井豪雨から10年シンポジウム」係
FAX 0776-57-5166

メール bousai@fukuishimbun.co.jp

【お問い合わせ】

TEL 0776-57-5152 (平日9:30～17:30)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
※参加者には追って聴講券を郵送いたします。当日は聴講券をご持参ください。
※応募いただいた個人情報には本シンポジウムのみに使用し、その他第三者に提供することはありません。

プログラム

- 「わが家のぼうさいコンテスト」表彰式
- 「ぼうさいコンテスト」作品展示
- パネルディスカッション

パネリスト

角 哲也氏 京都大学 防災研究所水資源環境研究センター 教授

柄谷友香氏 名城大学 都市情報学部 准教授

東村新一氏 福井市長

青野正志氏 国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長

コーディネーター 山下裕己 福井新聞社論説主幹



京都大学
防災研究所
水資源環境研究センター
教授

すみ てつ や
角 哲也氏

福岡県出身。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。京都大学大学院工学研究科助教授などを経て現職。九頭竜川流域懇談会委員、大野市湧水文化再生推進連絡協議会副委員長などを務める。最近の著作に「ダム科学」(編著)などがある。



名城大学
都市情報学部
准教授

から たに ゆ か
柄谷友香氏

兵庫県出身。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。同大学防災研究所助手などを経て現職。中央防災会議専門委員などを務める。大学4年生のときに阪神大震災で被災。東日本大震災後は岩手県陸前高田市の復興を支援しながら研究活動を続けている。

主催：福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会

(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

福井新聞社 NHK福井放送局

後援：福井県教育委員会

「福井豪雨から10年ふくいの水防災を考える会」では、7月にキックオフと位置づけたシンポジウムを開催し、小学生向けの教材配布や巡回パネル展なども行っています。今回は一連の取り組みを総括したシンポジウムとなります。詳しくは「福井豪雨から10年特設ホームページ」をご覧ください。



福井豪雨10年 検索



参加申込用紙

定員300名

参加無料

申込締め切り：平成26年10月6日(月)

お申し込み先

福井新聞社内「福井豪雨から10年シンポジウム」係
参加希望の方全員の氏名、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業
を明記の上、はがき、FAX、またはメールにてお申し込みください。
また、防災対策へのご意見、質問などがあればお寄せください。

はがきでお申し込み

〒910-8552 福井市大和田2丁目801番地

メールでお申し込み

bousai@fukuishimbun.co.jp

FAXでお申し込み

FAX 0776-57-5166

この用紙に必要事項を記入し、このままFAXでご送信ください。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

※参加者には追って聴講券を郵送いたします。当日は聴講券をご持参ください。

※応募いただいた個人情報は本シンポジウムのみで使用し、その他第三者に提供することはありません。

お問い合わせ

TEL 0776-57-5152 (平日9:30~17:30)

※電話はお問い合わせのみとさせていただきます

【プログラム】

13:00 開場

13:30 主催者あいさつ

13:35 ぼうさいコンテスト表彰式

13:55 審査委員長の総評

(福原輝幸・福井大学大学院教授)

14:05 休憩

14:15 パネルディスカッション

「災害に強い地域をめざして」

15:30 質疑応答

15:45 閉会

氏名	住所	年齢・職業	電話番号
フリガナ	〒	—	
		歳	
		職業	
フリガナ	〒	—	
		歳	
		職業	
フリガナ	〒	—	
		歳	
		職業	
フリガナ	〒	—	
		歳	
		職業	

質問欄

※普段の防災についての疑問や各パネリストへの質問など、ご自由に何でもお書きください。
パネルディスカッションで使用させていただく場合があります。